

第1回 立野小学校 授業研究会

講師

学校法人希望が丘学園	学園統括顧問	日置 光久	先生
福島大学教職大学院人間発達文化研究科	准教授	鳴川 哲也	先生
国立教育政策研究所	学力調査官	川上 真哉	先生
横浜市立三保小学校	校長	鈴木 康史	先生

授業者 6年2組 境 孝 理科「物の燃え方」



ろうそくの火が消えた後の酸素と二酸化炭素の割合の変化について、実験結果を基に、より妥当な考えをつくりだして表現し、問題解決することができるように授業をしました。

デジタル気体測定器を使って計測した結果をもとにして考察して、「酸素は約4%減り、二酸化炭素は約3%増える」と結論付けました。もう一度、集気びんの中でろうそくの火が消えていく様子を観察して「見え方が変わって、誕生日のときにろうそくを消すときにいろいろ言えるなって思った。」「当たり前にあつてなんとも思っていなかった火が、この学習をすることで見え方が変わって、嬉しかった。」と、学習を振り返り、自分の生活につなげたり、学習した良さを自覚したりする姿が見られました。

講師の先生方からは、「科学的（実証性、再現性、客観性）に考える力と、理科を学ぶ意義の両輪がうまく回っている。」「学習に向かう子どもたちの目の輝き、わくわくしている姿が素晴らしい。」と子どもたちへの評価をいただきました。